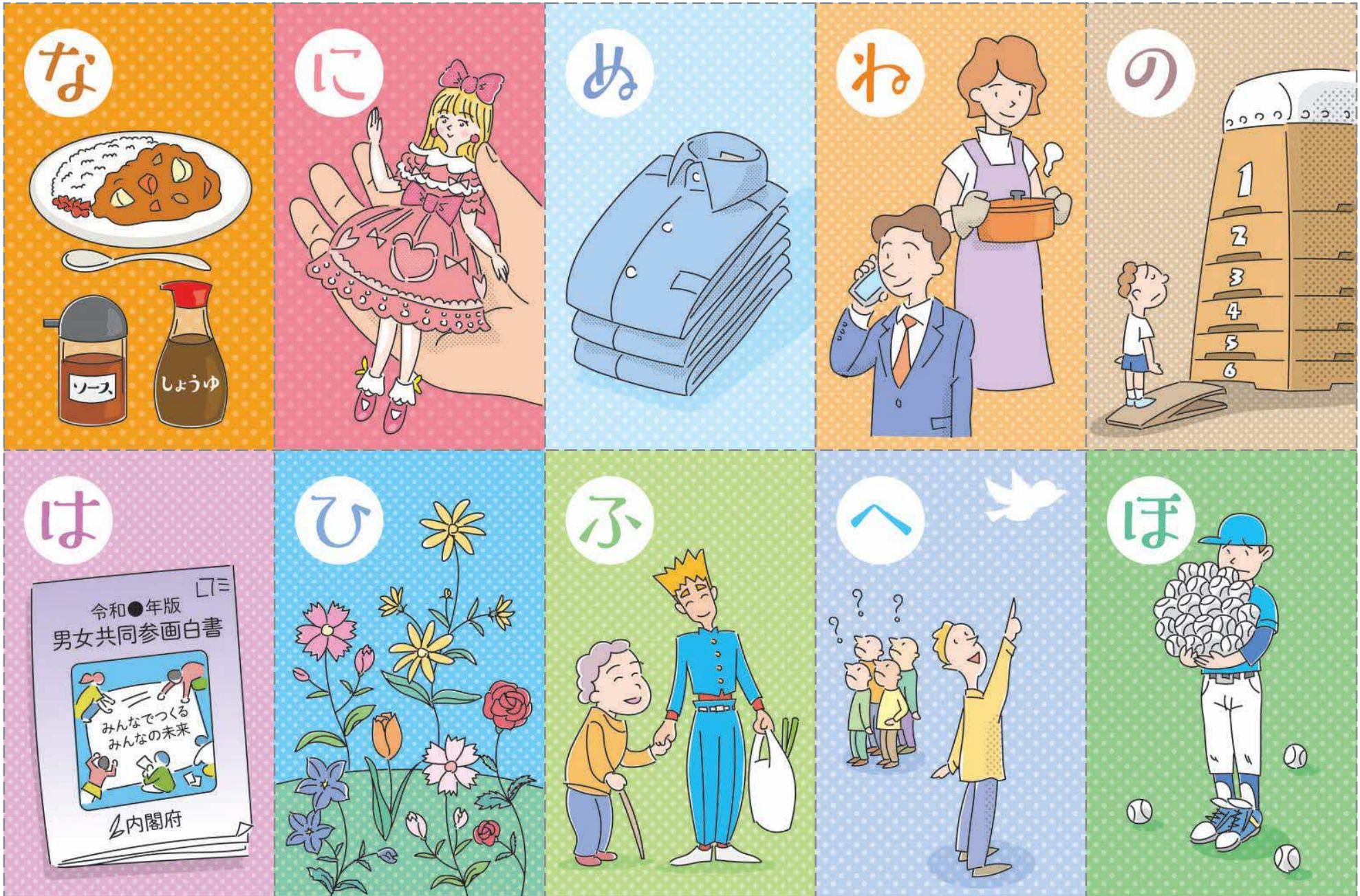


「思い込み」(バイアス)は誰もが知らず知らずのうちに持っているもので、日常にあふれています。思い込みがあるとどんな影響があるのかな? かるたを通して学んで思い込みに気づこう! 知ろう!



--- ✂ 線に沿って切り離してください

何そのルール？  
うちの家では  
あたり前でも、  
よその家では？？？

生まれ育った環境や習慣は知らず知らずのうちに常識となり、それが常識ではないことに気づきにくくなります。あなたの家にもローカルルールが存在しているかも？

人形で遊ぶの  
女子と決めつけ  
ないで！

「男の子だから泣いたらダメ」「女の子だからおしとやかにしなさい」など、今まで言われてきたことや、されたことが思い込みに繋がります。あなたも無意識に思い込みの発言をしていませんか？

脱いだまま置かれた  
服を片付けるのは  
誰の仕事？

例えば「親は子どものために〇〇すべき」と決めつけていませんか？また親側が「親だからしなくちゃ！」と思い込みにとらわれている場合もあります。親も認識が必要です。

根強い偏見・  
思い込み  
いつ終わる!?

知らず知らずのうちに植え付けられた偏見や思い込みは誰にでもあります。無意識だからこそ完全になくすことは難しいですが、自分自身が変えることはできます！

能力の決めつけ言葉  
「どうせ無理」は  
やめましょう

「どうせ」「やっぱり」などの決めつけ言葉や、押し付け言葉が浮かんだら要注意です。まずは決めつけずに、思い込みに向き合ってみましょう。未来が変わるかもしれません。

白書には  
いろいろなデータが  
載ってるよ

男女共同参画を推進するために内閣府では、毎年「男女共同参画白書」を発行しています。男女共同参画に関するデータや政策の推移が記載されています。

広げよう！  
偏見・差別のない  
社会

相手に対して「こうに違いない」と無意識に思い込むことで、偏見や差別になっていませんか？過度の先入観を持つと、人間関係などに悪影響を及ぼす可能性があります。

「普通」つてなに？  
思い込みを捨てて  
考えよう

人を判断する時、属性や特質、外見によって決めつけていないか自分の思い込みを疑ってみましょう。表面的な判断ではなく、その人自身を判断しましょう。

へえ！そうか  
思い込みをなくして  
新たな発見！

自分とは異なる意見や視点を持つ人と接することで、思い込みを認識しやすくなります。特定の人物やグループに依存し過ぎないようにし、いろんな角度から物事を見ることが心げきましょう。

補助的な仕事だから  
といって誰がするとは  
決まっていない

組織にはさまざまな決め事がありますが、単に「押し付け」となると、その人のモチベーションを低下させたり公平性を妨げる要因になります。